

1996年度卒業論文題目一覧表

明 石 麻 里	若きゲーテのフリーデリーケ体験と『ゼーゼンハイムの歌』
秋 吉 拓 也	シラー『群盗』の革命性について
井 上 聡	『騎士グルック』について
岩 上 真致子	『わが闘争』とヒトラーの人種主義イデオロギー——ナチズムの政策の基盤としての民族主義——
江 崎 由 里	メルヘンの中の女性の姿
大 北 香	映画『オリンピア』について
大 前 和 也	『ヒューペリオン』における啓蒙主義批判について
岡 林 さ ち	ドイツ語の文法上の一致・不一致に関する言語史的研究
奥 村 奈央子	ドイツの環境問題——ごみ処理問題を中心に——
尾 郷 道 昭	東西ドイツ統一後における労働問題
木 村 彰 一	ホフマンのメールヒェン『見知らぬ子ども』について
甲 田 真 弓	C. F. Meyer の星に関する六つの詩における考察
小 松 紀 子	西洋市民社会とツイゴイナー——迫害に関する文化的考察——
古 味 敬 子	外国語教育と異文化コミュニケーション（特にノンバーバル・コミュニケーションの重要性について）
道祖尾 朗 子	異文化コミュニケーション——日本とドイツの価値観の相違——
坂 根 充紀栄	異文化間教育——多文化共生教育を目指して——
酒 巻 優 子	ドイツ・日本における親子関係・しつけの相違について
佐 川 恭 子	『アプデラの人びと』にみられるヴィーラントの社会的立場

- 杉 本 香 織 「社交」を中心として見た日本とヨーロッパにおける
カフェの歴史
- 相 馬 基 伸 クライストの二つの短編について——Das Erd-
beben in Chili, Der Findling——
- 高 橋 英 二 ドイツと日本のごみ問題——環境問題としてのごみ
問題——
- 高 橋 朋 子 グリム童話における魔女と狼
- 竹 内 久美子 ドイツ文学作品における扉について
- 武 田 幸 造 ドイツ語の機能動詞構造について
- 武 本 太 郎 ドイツのネオナチ——ドイツの極右問題について
- 棚 橋 晶 子 「ドイツ語における言語改革運動」——非性差別的
ドイツ語使用を求めて——
- 玉 越 博 充 クライスト『チリの地震』について
- 東 江 昌 美 西ドイツと日本における歴史意識の違い
- 西 方 亜 紀 Vergangenheitstempus を表す Präteritum と Per-
fekt について
- 西 田 章 子 A. Meyer が旅人として見た18世紀後半における北
ドイツの風景
- 能 智 斉 子 日独食文化比較
- 橋 本 協 子 ドイツ語の非人称表現の言語史的研究
- 長谷川 保 子 Berliner Illustrierte Zeitung にみるヴィルヘルム
時代のドイツの市民生活
- 早 川 敦 子 グリム童話の残虐性について
- 原 川 恵 子 異文化間コミュニケーションについて
- 馬 場 勝 吾 ゲーテ『ヘルマンとドロテア』について
- 坂 東 匠 ナチズムの市民社会に対する影響
- 福 富 典 子 ドイツ語における Passiv の源流と意義について
- 紅 谷 浩 二 実践としてのテキスト分析——「橋」あるいはカフ
カの世界の記号を巡って

- 堀 田 敦 志 ファウスト文学についての考察——マーロウ・ゲーテ・鷗外・中島敦——
- 堀 江 美代子 ハイน์リッヒ・フォン・クライストの『チリの地震』について
- 前 田 かおり ドイツの労働環境——労働の対価としての休暇——
- 松 生 正 グリム童話『灰かぶり』における内容の変遷について
- 丸 山 展 克 ヘルダーリン——ヘルダーリンにとってズゼッテ夫人とは——
- 三 上 京 子 グリム童話における女性像——魔女の存在——
- 宮 本 亜 矢 E. T. A.ホフマン『世襲領』における「城」について——作者ホフマンの意図と効果——
- 森 岡 郁 子 Paul Klee——sein Leben und seine Werke——
(ドイツ語)
- 森 下 久 美 グリム童話に反映された歴史的事実と子供達に与える影響——『白雪姫』, 『ヘンゼルとグレーテル』を道標に
- 森 田 佳緒里 ドイツの家庭教育・学校教育について
- 矢 野 郁 子 グリム童話『いばら姫』について
- 山 田 美砂子 Konjunktiv——現代ドイツ語におけるその意義
- 山 根 陽 子 フランツ・カフカの『変身』に描かれた「家族」について
- 山 村 るり子 日本とは異なるドイツの教育諸制度について
- 吉 井 忍 葛藤による成長——『白雪姫』より——
- 吉 川 薫 Paul Klee und die >entartete Kunst< (ドイツ語)
- 由 上 俊 和 ヘルマン・ヘッセの『車輪の下』
- 吉 野 由 希 Vom Ziel Michael Endes in „Der Spiegel im Spiegel“ (ドイツ語)
- 米 井 成 美 Kurt Schwitters——Vater von MERZ—— (ドイツ語)

- 萬 屋 隆 之 『ニーベルンゲンの歌』登場人物の性格描写とその
特質について
- 渡 辺 美佳子 ヘルマン・ヘッセ『シッダールタ』について
- 伊豫田 裕 司 カフカの新しいヨブ記——『審判』
- 百 済 徳 光 接尾辞-lich と-bar を持つ形容詞の数的考察
- 小 寺 齊 人 ドイツにおける Jugendsprache と日本における若
者語に関する研究
- 佐 伯 康 弘 ハルトマン・フォン・アウエの『哀れなハインリヒ』
について
- 庭 井 史 絵 Ein new Kochbuch——何が new なのか
- 藤 沢 信 行 E. T. A.ホフマン『砂男』における娯楽文学的要素
について
- 増 田 真太郎 ヘルダーリン『ヒュペーリオン』について
- 伊 井 博 毅 エルンスト・トラーとその時代
- 上 林 妙 子 ドイツと日本の教科書の比較——人間関係と環境問
題——
- 徳 永 侑 希 東西ドイツ統一問題——統一後の“心の壁”につい
て——